

イノベーションによる新産業・新市場の創出
エグゼクティブサマリー 1/3

2013年度の重点項目
エグゼクティブサマリー(3/3)

イノベーション創出のしくみの構築

日本の再生と成長

提言1

新たな基幹産業を国家の意思を込めて育成
強化すべき領域:「素材の強化」「システム化」「サービスとの融合」

対象分野: エネルギー、資源、少子高齢化、医療・介護、レジリエンス
先端キーテクノロジー、情報通信、もの(コト)づくり、産業基盤人材

対象分野の具体例: エグゼクティブサマリー(2/3)

提言2

「安全・安心」日本ブランド再生のイノベーションシステムの構築

- ・イノベーションはリスクをとったチャレンジから生まれる
- ・イノベーションの主体は企業、国の役割はリスクのとれるしくみづくり
- ・イノベーションへの投資と実行の主体を明らかにする

(2) 司令塔機能の本格的構築

(3) 政策の継続性の確保

提言6

政治の役割への期待

- * 合意形成のリーダーシップ
- * 政策実行の継続性
- * イノベーションの司令塔の実効化と強化
内閣府設置法の改正による
 - ・資源配分や予算執行権限の保持
 - ・ファンディングシステムの再構築など

(1) イノベーションサイクルをまわす

3つのイノベーションシステム

「つなぐ」イノベーションの構築

- ・社会とつなぐイノベーション (課題解決と事業化)
- ・市場とつなぐイノベーション (リスクテキングのできるしくみ、ベンチャーを育てる)
- ・世界とつなぐイノベーション (世界、特にアジアの成長を取り込む)

提言3

イノベーションの「担い手」作り

- ・テーマ構想力とイノベーションサイクルの推進力を持った「担い手」
- ・自立分散型の社会イノベーションを担う「公益イノベーション」の「担い手」
- ・省庁連携を統括し国家の社会的課題の解決に責任を持つ「担い手」

提言4

イノベティブな人材の育成と確保

- ・次世代の確保(少子化対策)
- ・産官学連携による大学改革
- ・グローバルな人材の発掘と育成
- ・海外の才能の受け入れ
- ・女性の活躍や子育ての支援

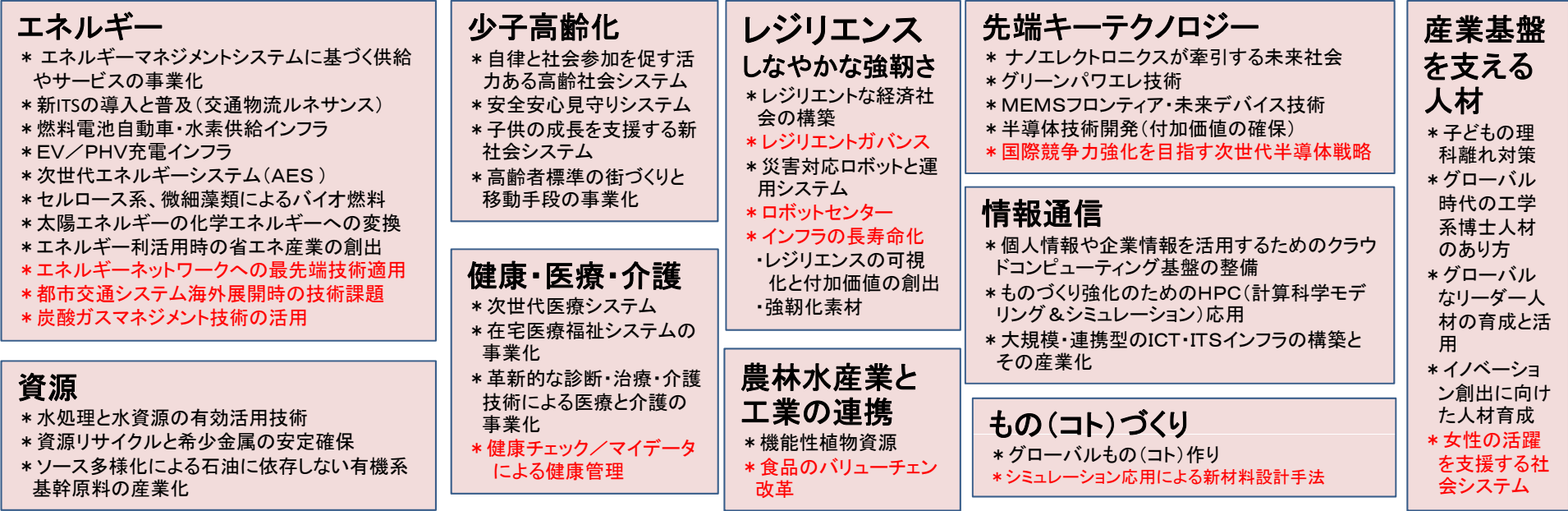
提言5

イノベーションによる新産業・新市場の創出
エグゼクティブサマリー 2/3

解決すべき課題とイノベーション創出の対象分野

赤字:2013年度
推進テーマ

課題解決を通じた新産業・新市場の創出



3つの社会的課題

2つの産業基盤課題



解決すべき5つの課題

政策の進捗と新たな課題(2013年度の重点提言項目)

3つのイノベーションシステム (つなぐ、担い手、人材)

追加課題

イノベーションサイクルをまわす政策の推進

- (1) 研究開発、実証、実装を総合的に結びつけるしくみと人材の育成
- (2) 技術やシステムの検証・需要の創出に向けた関連省庁の積極参画
- (3) ベンチャーを生み育てるしくみや規制の緩和
- (4) 先端技術開発におけるデュアルユースの活用
- (5) 透明な政策や科学的知見に基づくタブー分野解消への啓発

イノベーション
サイクル
をまわす

政治の役割への期待

大きな進捗

- * 合意形成のリーダーシップ ⇒ 重要課題に対する司令塔(担当大臣)の設置
- * 政策実行の継続性 ⇒ 成長戦略とイノベーション政策の一体推進
- * イノベーションの司令塔(総合科学技術会議)の強化(資源配分や予算執行権限)
⇒ ・「予算戦略会議」「SIP」「ImPACT」 ・ 内閣府設置法等の改正 など

指令塔機
能の本格
的構築

推進すべき
課題

1. 科学技術・イノベーション政策の司令塔機能の本格的構築
 - (1) 内閣府の体制や機能の明確化と強化
 - (2) 国家重点プログラム(SIP・ImPACT)の推進や運営に関する透明性の確立
 - (3) 政府の複数司令塔間の分担の明確化と円滑な調整を実現
2. 厳しい財政状況の中で科学技術イノベーション政策の継続性確保
 - (1) 政府による研究開発投資の拡充は長年の課題
 - (2) SIP・ImPACTのような国家重点プログラムは継続的に通常予算を確保

政策の継
続性確保